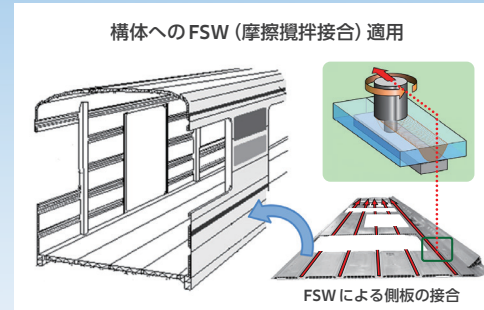


標準型車両「efACE」

リサイクル・リユースを積極的に推進し、徹底した軽量化などにより省エネ&省資源を実現

リサイクル可能な材料として、構体材料にステンレス、内装パネルにアルミ複合板を採用し、アルミ構体ではモノアロイ化を推進。軽量化による消費電力削減。製造時においても FSW 接合の適用により、MIG 溶接に比べて溶接入熱量を削減。



2020

Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2017年：初回登録

製品紹介

省エネや環境負荷低減の観点からクリーンな大量輸送手段であり、ステンレス車両でもアルミ車両でも対応できる「柔軟性」、品質と価格の「合理性」、快適・環境性能の「付加価値」を基本コンセプトとする標準型通勤車両

特長

- リサイクル可能なステンレス構体、内装パネルの採用
- アルミ構体のハモニカ構造、SUS 構体にもひねりボルトを採用することで、腰掛や機器レイアウト変更など車体更新しやすい構造の採用
- アルミ複合板やチャンパーレスダクト採用による軽量化